

くにたちしけんりようごしえんしんぎかい
国立市権利擁護支援審議会

だい かい れいわ ねん がつ にち
(第4回 令和7年1月21日)

かいぎろく
会議録

かいぎめい 会 議 名		だいかい くにたちしけんりようごしえんしんぎかい 第4回 国立市権利擁護支援審議会
にちじ 日 時		れいわねん がつ にち か ごご じ ふん 令和7年1月21日(火) 午後6時30分から 8時30分
ばしょ 場 所		くにたちしやくしよち か かい はーべすとあとち 国立市役所地下1階 ハーベスト跡地
出席者 やじはせりしよ	いん 委 員	そね なおき はやし ひろき あきの たつひこ かなざわ ゆうこ よこた まさし・ こやま 晴よし はやし みずちか やまじ けいこ いけだ きさき むらかみ さちえ・ いのうえ はるな は が ひろゆき さとう としえ こだま みやこ 井上 晴菜・芳賀 弘幸・佐藤 寿江・兒玉 美也古
	じむきよく 事務局	くにたちしやくしよ (国立市役所) けんこうふくしぶちよう ふくし そうむかちよう ちいきふくしすいしんかかりちよう ちいきふくしすいしんかかりしゅにん 健康福祉部長、福祉総務課長、地域福祉推進係 長、地域福祉推進係主任 (国立市社会福祉協議会) けんりようごせん たー かかりちよう けんりようごせん たー しゅじ 権利擁護センター係 長、権利擁護センター 主事
けっせきいん 欠席委員		なし
ぎだい 議 題		1. だいかい ふ がえ 第3回振り返りについて 2. あんけーとおよ ひありんぐ アンケート及びヒアリングについて 3. その他
こうかい ひこうかい べつ 公開・非公開の別		こうかい 公開
ひこうかい りゆう 非公開の理由		
ぼうちょうにん かず 傍聴人の数		めい 6名
はいふしりよう 配布資料		しりよう 資料 1 だいかいけんりようごしんぎかいたいむすけじゅーる 第4回権利擁護審議会タイムスケジュール しりよう 資料 2 くにたちしけんりようごしえんすいしんけいかくさくてい しななじぎょうしよあんけーと 国立市権利擁護支援推進計画策定のための 市内事業所アンケート ちょうさ 調査 しりよう 資料 3 くにたちしけんりようごしえんすいしんけいかくさくてい あんけーとちょうさ せんもんしよく 国立市権利擁護支援推進計画策定のためのアンケート調査(専門職 たいしやう 対象) しりよう 資料 4 くにたちしけんりようごしえんすいしんけいかくさくてい ひありんぐ 国立市権利擁護支援推進計画策定のためのヒアリング

だい かい く に たち し け ん り ょ う ご し え ん し ん ぎ かい
第4回 国立市権利擁護支援審議会

【事務局】 ありがとうございました。後ほど、またお茶会等を含めて会議の進行について、皆さんから御意見

をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、この時間から審議会を始めさせていただきたいと思います。曾根会長、進行をよろしくお願いいたします。

【曾根会長】 皆さん、お茶会はいかがだったでしょうか。ずっとお茶会だったらいいのかなと思いますが、そうもいかない。

では、第4回国立市権利擁護支援審議会を開催したいと思います。

最初に、前回の議事録の確認について、事務局からお願いいたします。

【事務局】 それでは、前回の議事録の確認をいたします。議事録を皆さんに送らせていただきましたけれど

も、加筆や修正など必要な箇所はございましたでしょうか。ございましたら、挙手にてお知らせいただければと

思います。よろしいでしょうか。もしまた何かありましたら、おっしゃってください。議事録につきましては、この

内容でホームページに掲載をさせていただければと思います。

また、毎回のお願いで恐縮ですが、議事録作成を行う都合上、御発言の際には、必ず挙手をしてい

ただき、会長が指名した後、お名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと思います。

続きまして、本日の配付資料の確認させていただきます。本日の資料は5点でございます。まず、次第がござ

いまして、その次に、資料Iといたしまして、第4回権利擁護審議会のタイムスケジュールでございます。続きま

して、資料2、国立市権利擁護支援推進計画策定のための市内事業所アンケート調査、4点目が資料3、

国立市権利擁護支援推進計画策定のためのアンケート調査（専門職対象）、5点目が資料の4、国立市権利

擁護支援推進計画のためのヒアリングでございます。以上5点、本日の資料でございます。

なお、資料2から4につきましては、前回第3回の審議会で配付した資料と内容は同じでございます。資料が

足りない方はいらっしゃいますでしょうか。挙手にてお知らせください。よろしいですか。

事務局からは以上でございます。曽根会長、よろしくお願いいたします。

【曽根会長】では、ここからは次第に沿って進めさせていただきます。次第の1、第3回振り返り、それから、

次第の2、アンケート及びヒアリングについてです。前回は、水島弁護士から「意思決定支援とは」という研修

をしていただきました。その後に、本会の進め方について議論して、今回のお茶会になったということです。

では、事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】それでは、事務局より御説明させていただきます。前回の第3回審議会の際に、議題がなかなか

難しいということで、少し委員同士でお互いのことをお話ししながら議論を進めていきたいという御意見をい

ただきました。そのため、資料1にもございますとおり、今回まず審議会が始まる前の15分を使わせていた

きまして、委員の皆様同士での情報交換を行う時間を設けさせていただきました。今回、審議会に関係のな

い内容で、まずアイスブレイクという形でやらせていただきましたけれども、そこもどうだったか、後ほど

御意見をいただければと思います。

また、審議会での議論につきましても、今までは集合といいますか、14名の審議会委員の皆さんが1つのテ

ーブルでという形でやっていたんですけれども、より意見が言いやすいようにと事務局で考えまして、全体

での話し合いとグループでの話し合い、少しやり方をミックスして進めていけるような構成を今回ちょっと試しにさ

せていただければと思います。今回の審議会で1度やらせていただいて、またやり方についてはいろいろ

御意見をいただきながら、少し考えてまいりたいと思っております。後半に皆様で御議論いただき、今後の進

め方については、後ほど最後に集約できればと思っております。

アンケートのヒアリングについてですけれども、先ほど申し上げたとおり、資料2から4については第3回の際

にもお示しさせていただきました。一応、第3回終了後に、今回までに何か御意見があれば頂戴できますか、

というお話をさせていただいております。特に御意見はございませんでしたので、第3回と同様の資料を

本日お示しさせていただきます。本日、再度御確認いただいて、御議論いただきたいというふうに思っております。

す。

事務局からは以上でございます。アンケートとヒアリングそれぞれで御議論いただきたいと思っておりますの

で、よろしくお願いいたします。

【曽根会長】 ありがとうございます。前回の振り返りについて、何か補足される方はいらっしゃいますか。

大丈夫でしょうか。この会議そのものが意思決定支援ということで、皆さん全員がこの会議に参加しやすいよ

うにお願いしたいと思います。

では最初に、アンケートについての話し合いをしたいと思いますので、各グループでアンケートについて

話し合っていていただいて、その後、全体で発言のある方は手を挙げて発言していただくというふうにしたいと思います

います。テーブルごとに意見をまとめたりしなくて結構ですので、お互いにどういうことを思っているかというこ

とを話し合っていていただいて、その後、全体で意見のある方は発言していただくという形で進めさせていただきます

たい^{おも}と思います。

こうやって丁寧^{ていねい}にしていく関係^{かんけい}で、テーブルごとの話しあ^{はなしあ}いは大体10分ぐらい^{だいたい ふん}となるかもしれません。なるべく

積極^{せっきよくてき}的に意見交換^{いけんこうかん}をしていただけたら^{おも}と思います。今、6時55分^{いま}なので、7時5分^{じ ふん}までで10分^{ふん}なので、そのぐ

らい^{じかん}の時間^{なか}の中で、テーブルごと^{かんが}にそれぞれ^{いけんこうかん}どういうふう^{ねが}に考^{かんが}えているか^{いけんこうかん}というこ^{ねが}の意見交換^{いけんこうかん}をお願いいた

します。

では、お願^{ねが}いします。

【事務局】事務^{じむきよく}局^{じむきよく}に御用^{ごよう}の際は、挙手^{さい}いただければ伺^{きよしゆ}いますのでよろしくお願^{うかが}いいたします。

〔グループ討議^{とうぎ}〕

【事務局】そろそろお時間^{じむきよく}ではあるん^{じかん}ですけれども、もうちょっ^{じかん}と時間^{ひつよう}が必要^{ひつよう}だというグループはありますか。

では、あと5分^{ふん}くらい延ば^のさせていただきます。

〔グループ討議^{とうぎ}〕

【事務局】そろそろお時間^{じむきよく}でござ^{じかん}いますが、いかが^{いけん}でしょうか。グループで意見^{いけん}をまとめていただく必要^{ひつよう}はご

ざい^{じぶん}ませんので、自分^{おも}がこう思^{なん}ったみたい^きなところ^{だいじょうぶ}が何^{いっただいじょうぶ}となく決まれば大丈夫^{だいじょうぶ}ですので、一旦大丈夫^{だいじょうぶ}ですか。

会^{かいちょう}長^{ねが}、よろしくお願^{ねが}いします。

【曾根会^{そね かいちょう}長】それでは、アンケートについて御意見^{ごいけん}がある方^{かた}は手^てを挙^あげて御発言^{ごはつげん}ください。いかが^{ごはつげん}でし

か。

【横田^{よこた}委員】ぱっ^みと見^{なが}には長^{おも}いかと思う^{おも}んですけれども、このアンケート全体^{ぜんたい}を通^{とお}して、今回^{こんかい}は国立市^{くにたちし}の権利^{けんり}

擁護^{ようご}ですね。この部会^{ぶかい}の名前^{なまえ}も権利^{けんり}擁護^{ようご}ですが、ちょっ^{せいねんこうけん}と成年後見^{まへ}が前^{です}に出過^でぎているんじゃないかというお

はなし ほんとう い し けって い し え ん せいねんこうけん
話がありました。それで、本当に意思決定支援というところをメインにしていくのであれば、成年後見だけが

い し けって い し え ん おも ほんとう かぞく し え ん し ゃ し せ つ かた
意思決定支援ではないと思うんですね。本当に家族があったり、支援者、それから施設の方、いろんなところ

かいご い み せいねんこうけん せいど とく じぎょうしょ いちばんさいしょ
で、もちろん介護もそうですね。そういう意味で、成年後見制度が、特に事業所のアンケートで一番最初に

せいねんこうけん せいど て うし も
成年後見制度のことが、ばんと出ているので、これはむしろ後ろに持っていったほうがいいんじゃないかと。

どうじしや かた い し けって い し え ん じぶん
それからあとは、やっぱり当事者の方のインタビューのところ、やはり意思決定支援というところでも、自分

ほんとう けっきょく じぶん いのち かか したが え
が本当はしたかったんだけれどもできなかった、それが結局、自分の命に関わることで従わざるを得なかつ

れきし たぶんみな おお ほんとう と じったい
たみたいな歴史が多分皆さんすごく多いんじゃないかと。そういうところを本当にひも解いていきながら、実態

けんりようご くにたち ひろ くにたち なに ひと
として権利擁護が国立ではどうなっているのかというところを拾っていきながらすると、国立らしい何か1つの

はなし
ものができのではないかなという話をいたしました。

そ ね かいちょう せいねんこうけん すこ うし はなし
【曽根会長】 成年後見は、もう少しアンケート後ろのほうにしたらいというお話です。それから、ヒアリング

はなしあ
についての話し合いをしてくださったということですか。

よ こ た い い ん ぜんたい なか
【横田委員】 全体の中で。

そ ね かいちょう わ わ ぎだ い おも
【曽根会長】 分かりました。ヒアリングとアンケートを分けて議題になっていたかと思いますが……。

じむきょく あと じかん はなし なか かんけい おも
【事務局】 ヒアリングはまたこの後お時間をつくりますので、でも、お話の中で関係してくると思いますので、

ば わ だ だいじょうぶ
この場ではとりあえず分けずに、アンケートとヒアリングのどちらでも出していただいて大丈夫です。ただ、お

じかん ふん と はな おも
時間としてはヒアリングについても15分取っていますので、そこでもお話しいただければと思います。

そ ね かいちょう わたし はなし あと ごはつげん おも
【曽根会長】 私たちのグループはヒアリングまで話ができていません。後でもまた御発言いただけたらと思

ほか
います。他にいかがでしょうか。

【井上委員】準備できていないです。意見を考える、また考えます。

【曾根会長】ほかにアンケートについて意見がある方はいらっしゃいますか。こちらのテーブルでは何か御意見ありましたか。

【秋野委員】お聞きいただいたので少し御紹介しますと、アンケートの対象について、市内事業所であったり、専門職であったり、当事者であったりというふうに3つに分けていただいている、そのうち当事者ということ

ろなんですけれども、アンケートの対象として、2の(1)のしょうがいしゃ、しょうがいのある方と、(2)の高齢者という項目を立てていただいています。

【曾根会長】どの資料になりますか。

【秋野委員】資料4の当事者対象のヒアリング……。ここまでアンケートの対象の前提で話をしてしまっているように思うんですけれども、ヒアリングにもまたいでしまうかもしれませんが、出た意見の御紹介としまして

は、高齢者の方へのアンケートなりヒアリングにおいて、認知症などで例えば成年後見制度を利用していると、既に制度を利用している方へのアンケートやヒアリングというのももちろん大事と考えるんですけれども、

それだけではなくて、まだそういった制度利用をしていないというか、将来することになるかもしれない御高齢の方についても、同じようにアンケートやヒアリングをして、どういった点について権利擁護の視点で思っているのかがあるのかをお伺いするというのは有益じゃないかという意見がこちらのテーブルでは出ました。

【曾根会長】少し整理が必要かなと思うんですけれども、まずアンケートについて御意見を出していただいて、その後、時間を取ってヒアリングについて話し合うことになっているので、その後、ヒアリングについて

ごいけん せいり ま すこ わ
御意見いただくというふうに整理させていただいてよろしいですか。いろんなものが混ざっていると少し分かり

にくくなってしまうみたいですので、まずはアンケートですね。

とうじしゃ ひと と
当事者の人にアンケートは取らないということでもいいですね。

じむきょく とうじしゃ かた たいめん ほうほう てきせつ
【事務局】当事者の方については、やはりアンケートという対面しない方法が、なかなか適切かどうかという

むづか おも けっきょくかぎ とうじしゃ かた き かたち
のが難しいなと思っていて、ヒアリングも結局限られた当事者の方にお聞きする形になるので、あまり

とうけいてき ごいけん けいかく もくてき こやまいん ごていあん
統計的な、この御意見をベースに計画をつくるということを目的としているというよりも、小山委員から御提案

いただいたのは、やはり当事者の方がどういうふうな考えを持っているのかというのを委員として知りたいと

はなし はじ い み せんもんしよく かいごじぎょうしょ ていどうけい
いう話から始まっていますので、そういう意味では、専門職や介護事業所のアンケートは、ある程度統計デー

と とうじしゃ とうじしゃ かた そっちよく かんが
タを取るため、当事者へのヒアリングというのは、当事者の方が率直にどうのことを考えているのかという

し もくてき か わ
のを知るためというところで、ちょっと目的を変えているというところでヒアリングとアンケートを分けておりま

す。

そ ね かいちょう
【曾根会長】ありがとうございました。

かた ごいけん かた
では、こちらのテーブルの方で御意見がある方はいらっしゃいますか。

は が いいん とうじしゃ しせつ しつもん とうじしゃ しせつ はな みきわ
【芳賀委員】当事者の施設への質問なんですけれども、当事者が施設を離れるというか、その見極めとかは

たと はたら むかし ひんばん い
どうなのかなと。例えば働くようになって、あまり昔みたいに頻繁に行かなくなったというケースがあるんです

しぜん しえん はな へん みきわ おも
けれども、自然にそうなっちゃうのか、どこかで支援から離れるのか、そこら辺の見極めはどうなのかなと思っ

し おも
ているんですけれども。それを知りたいなと思います。

そ ね かいちょう しせつ しせつ はな
【曾根会長】施設というのは、どういう施設から離れるんでしょうか。

【芳賀委員】 例えば自分は、オープナーとか、棕櫚亭グループの支援施設に行っているんですけども、あ

と、しょうがいしゃ就労支援センター、そこを利用していたんですけども、顔はつないでいるんですけども、

支援から、どこから離れたのかなと、ちょっと自分では理解できないところです。そこがどうなのか。

【曽根会長】 いつの間にか来なくなっちゃう方がいらっしゃるということですか。

【芳賀委員】 自分も含めてそうです。

【曽根会長】 御自身も。

【芳賀委員】 はい。

【曽根会長】 棕櫚亭の方はいらっしゃいましたよね。いいですか、お答えいただいて。

【山地委員】 離れるのも、つながっておくのも、その方とお話をするというのは原則でやっているので、そうい

う機会がなかったのかなと思って、今どきどきしながら聞いています。

【芳賀委員】 行けば会えるし、「話す機会をつくってください」と言うをつくってくれるし、しょうがいしゃ就労

支援センターも、「相談があるんですけども。」と言ったら、機会はつくってくれるんですけども、自分から

言わないと、もうそういうのは無いのかなとか。そこら辺の判断はどうしているのかなと思います。

【山地委員】 どのくらいキャリアとして使っているかということもあるし、「どのように利用したいのか」という聞

き取りがきちんとされていないということもあるかもしれないですね。その方の今の状態に対して、丁寧に今ど

んなふう、オープナーだったら「どのぐらいの頻度として会ってお話ししましょうか」とか、「会社の訪問はど

のぐらいがいいでしょうか」ということを、聞いていないということなんです。

【芳賀委員】 自分の場合は、特にオープナーの就労支援のサービスを受けていなかったし、しょうがいしゃ

就労支援センターでお話を聞いてもらっていたので、そういうサービスを受けていない。しょうがいしゃ就労

支援センターでお話を聞いてもらって、例えば、今後続けていったほうがいいよとかそういうアドバイスは受け

ていました。そのままずっと勤めていると、別に行かなくてもいいし、切れ目というのが分からなくて、どうなのか

など。福祉のサービスを使わなくても平気だけれども、その状態を把握できているのか、把握できているという

か、自分にはもう要らないのかとかそういう判断もできないから、そこら辺はどうなのかなど。

【山地委員】基本は、やはり判断をするところのサポートをどうするかということを支援者の人たちはやはり

考えないといけないと思っています。そこを選ぶとか、決めるとか判断する、特に判断のところは、その方によ

っては、どんなことがあれば自分で決められるかということを聞かないと分からないので、そのようなことが

芳賀さんには必要だったんですね。

【事務局】議論が盛り上がっているところ、少し要約といいますか、私が伺っている中でこういうことかなと

思ったのが、当事者、利用者の方と事業所の方の中で、当事者の方としては、自分にどう接してほしいとか、

どれぐらい介入という言い方はあれですね、どれぐらい事業所のほうからアプローチしてほしいかみたいなと

ころが、もしかしたら聞かれなかった、もしくは自分が期待していたものと少し違ったというお話だったのかな

とされていて、「どれぐらい、どういう接し方をしてほしいかというのを事業者さんが当事者の方に確認してい

ますか」みたいなところの設問につながるのかなと聞いていて思ったんですけど、芳賀さんとしては、今、

私が話した内容と違うかもしれないですが、もし事業所さんに聞くとしたらどういことを聞きたいか。今、離

れるタイミングというお話だったんですけど、離れるタイミングを含めて、もっと自分に聞いてほしかったと

というようなイメージでおっしゃっていましたか。

【芳賀委員】 離れることもそうなんですけれども、ずっと働いていると、同じような繰り返しで、結局というか、

自然と施設から離れるというか、行かなくてもいい状態に自分の場合はなったんですけれども、でも、それは

施設から言われたわけでもなくて、自分で決めて、いいやと思って行っていないだけで、それは自分の判断が

よかったのかよくないのか、そこが判断できないから今回議題に上げてみました。

【曽根会長】 芳賀さんは、そういうときに、何かこうしてほしいということはあるですか。

【芳賀委員】 1つは、「もうこれだけやっているから大丈夫だよ」という答えを出してもらいたかったけれども、

あと、基本は会社の上司と話ができたので、まあいいかというか、流れでそのまま働き続けている状態で、

変化がなかった分、施設との接点がありませんでした。

【曽根会長】 施設から会社で働きに行ったときに、もう来なくても大丈夫ですよとか、あるいは時々来てくだ

さいねとかと施設から言ってほしかったということではないですか。

【芳賀委員】 しょうがいしゃ就労支援センターの人には、「いつでも来てください」と言われていたんですけれ

ども、オープナーの人に相談するときも、「いつでもいいよ」というふうに言うけれども、いつでもいいよというこ

とは、いつでもよくないということだから。だから、どこで離れるというか、離れるっていうのは変だけれども、

参考になるものがなかったから、それがあればいいなと。

【曽根会長】 「いつでもいいですよ」と言うと、分かりにくいということなんではないですか。要するに、週に1回来

てくださいねとか、あるいは週に2回は来てほしいと言われたほうが分かりやすい。

【芳賀委員】 相談することがなかったら行かなくていいのかなと考えているから、別に会社で支障がなければ

行く必要もないし、何を相談しに行くのかも分からないし。だから、ここに判断とかにいく例がなかったの、

じぶん かんが 自分が考 えることも、ちょっとキャパシティーオーバーだから、そういうのを施設が考 えてくれたほうがよかつたなとおも っています。

そ ね かいちょう 【曽根会長】 「どうしたらいいか」ということをもっと相談したかった、ということなんでしょうか。

は が いいん ことく かん まわ なが つと ひと はたら 【芳賀委員】 孤独というより、感じていたのかな。周りにもあまり長く勤めている人はいないし、どこまで働くなかなというので、やっぱり会社の同僚とかが一番近い人になってくるので、会社の同僚を見て、しょうがいし

かいしゃ どうりょう じぶん はんだんざいりょう ふくしてき しせつ りょう れい やとかじゃなくて、会社の同僚が自分の判断材料になっちゃうから、福祉的な施設をどう利用していいか、例があまり分からなかったです。

そ ね かいちょう 【曽根会長】 そちらのテーブルで何か、どうぞ御発言ください。

こだまいいん い わ いま は が はなし うかが そうだん 【児玉委員】 うまく言えるかどうか分からないですけれども、今、芳賀さんのお話を伺っていて、相談がしたかったんじゃないんじゃないかなというのを今こちらで言っていて、後押しというか、「もう大丈夫だよ」とお墨

はんだん てつだ は が しえん い つきみたいな判断を手伝ってほしかったのかなと。芳賀さんが支援に行かなくていい、というふうになったこと

おも しょくば かんきょう ととの そうだん かんきょう はすばらしいことだと思うんですね。職場の環境がそれだけ整っていて、相談をしなくてよかったという環境

たぶん ふくし がわ み ぜんぜんだいじょうぶ こ どうじしゃ かた は、多分福祉の側から見ると、もう全然大丈夫、来なくていいよということなんですけれども、当事者の方から

み かって い おも おも だいじょうぶ 見ると、勝手に行かなくなったと思っちゃっているのかなと思ったんです。だから、「もういいよ、大丈夫だよ」と

ひとこと あんしん しょくば もど はなし いま いう一言があれば、安心して職場に戻れたのかなという話を今ちょっとここでしていました。

そ ね かいちょう は が 【曽根会長】 芳賀さん、いかがですか。

は が いいん たし 【芳賀委員】 ありがとうございます。確かにそのとおりかもしれないです。

こだまいいん いっしょ かんが よ 【児玉委員】 それも一緒に考 えられたらきっと良かったですね。

【芳賀委員】ほかに相談するというか、どうしていいかわからなかったのが正直、一番です。

【佐藤委員】うちの息子は特例子会社に勤務しております、やっぱり市のしょうがいしゃ就労支援担当の方

と関わりがありまして、あと、相談事業所ともやっぱりヒアリングとかいろいろ半年に1度話合いを持つ場があ

ります。やはり市のしょうがいしゃ就労支援担当の方は本当に気にかけてくださって、会社と本人とのつなぎ

の役割をしてくださっている、いろんな問題があったときには、やはり直接じゃなくて担当の方と、ワンクッ

ションおいていろんな問題について考えてくださっている、とても心強いんですね。あと、立場が違う相談

事業所の方も今までの経過を全部知っていますので、勤務の仕方はこのまま続けられたらいいですねとか、そ

ういうアドバイスを、モニタリングとかヒアリングとか、言い方はちゃんとは分からないんですけども、半年に1

度ずつ聞いてくださっている、うちの息子の場合はとても心強いんですね。家族も含めて安心していられ

ますので。担当の方がいらっしゃったって、市の就労支援担当の方とのコンタクトもあったわけですね。

【芳賀委員】しょうがいしゃ就労支援センターでカウンセラーという人がいて、その人が在籍しているときは

相談していました。しょうがいしゃ就労支援センターは、カウンセラーがいろいろ転勤とかあるから、何年かに1

回は転勤で人が替わって行って、相談することが減ってきて、それで知っているなじみの人も替わっていくの

で、それで対応というのか、定期的に継続的に相談するというのが、自分はもう18年ぐらい勤めているので無

いですよ。だから、例えばオープナーの小林施設長とか山地さんとか、そういうずっと勤めている人以外は、

やっぱりころころ変わっていくから、専属という人がずっとはいない、相談できる人はいないというのが今の

状態です。

【佐藤委員】利用している窓口が違っているのかもしれないですね。以前、市のしょうがい就労の担当は、

しゃきよう たんとうしゃ かた けいやく かんけい まいとししょくいん か
社協のあさがおがあるところに担当者の方がいらしたんですが、やはり契約の関係か、毎年職員さんが替わ

りよう ひ つ おも ふ あん おお
られて、利用しているときにこちらも、ちゃんと引き継ぎはしていただいていたと思うんですが、とても不安が多

ねが し ふくしか なか しゅうろうし えん たんとう かた はい
かったので、お願いして、市の福祉課の中に、しょうがいしゃの就労支援担当の方が入っていただくようになっ

ねん ほんにん たい たんとうしゃ か けいたい
てからは、この10年ぐらい本人に対して担当者が替わっていないんですね。なので、ちょっといろんな形態や

かいしゃ たんとうしゃ か みつ けいか ほんにん ほんとう めぐ じょうきよう おも
会社の担当者が替わっても、密に経過を、本人をフォローしてくれている本当に恵まれている状況だと思って

いるんです。

は が たぶんまどぐち ちが
芳賀さんがおっしゃっているセンターというのは、どこのことをおっしゃっているのか。多分窓口が違うから、

わたし おも は が たんとう かた ちが
私 がおっしゃっているのと芳賀さんがおっしゃっているセンターの担当の方というのが違うのかもしれないですが、

ひと しゅうろうたんとう かた ひつよう そうだんじぎょうしょ かか も
1つは就労担当の方のアドバイスやサポートが必要なのと、それから相談事業所との関わりというのはお持ち

なんでしょうか。

そ ね かいちょう は が いま じょうきよう こま き だいじ おも
【曽根会長】 ちょっとよろしいですか。芳賀さんの今の状況を細かく聞くのもすごく大事なことだと思いますけ

きよう は が
れども、今日はアンケートのことをまとめていかなければいけないということがあって、それで芳賀さんの

ごはつげん わたし かん は が なに き おも いっしょ かんが ひと ひつよう
御発言から私 感じたのは、芳賀さんが何か決めたいと思ったときに、一緒に 考えてくれる人が必要だ、と

いうことでいいんでしょうか。

は が いいん そうだん そうだん と
【芳賀委員】 そうですね。相談したいときは相談したいんですけども、なかなかきっかけというか、取っかか

そうだん なが つと だれ そうだん へん しゅうき
りが、どこに相談したらいいのかとか、あまり長く勤めていると誰に相談していいのかという、そこら辺が、周期

たす かんが
とかがあったら助かるなど 考えています。

そ ね かいちょう は が とくてい ひと なに き おも いっしょ かんが
【曽根会長】 だから、芳賀さんにとって特定の人が、何か決めたいと思ったときに一緒に 考えてくれる、そう

い^{そんざい}う存在^{ひと}がいたらいいということ^{そうだん}でよろしいですか。この人^{だいじょうぶ}に相談^{ひと}すれば大丈夫だという人がちゃんといると
いうか。

【芳賀委員】客観^{は が い い ん}的に判断^{きやっかんてき}してくれる、サポート^{はんだん}してくれる人^{ひと}がいると助^{たす}かります。

【曽根会長】い^{そ ね かいちよう}うことなんですね。ありがとうござい^{そんざい}ます。そういう存在^{そんざい}を、どうやったらつくって^きいけるかとい
うことが、これからの課題^{か だ い}なのかなと思^{おも}ってお話^{はなし}をお聞^ききました。

しゅろってい
棕櫚亭^{しゅろってい}さんは、よろしいでしょうか。大丈夫ですか。

【山地委員】い^{やまじ い い ん}はい。

【曽根会長】い^{そ ね かいちよう}個別^{こべつ}なお話^{はなし}は、終^おわった後^{あと}にじっくりして^きいて。い^きた。

それをアンケートの中^{なか}に入^いれたらいいということ^きでいいでしょうか。それとも、ヒアリングの中^{なか}で、当事者^{とうじしゃ}の人^{ひと}
に聞^きいたらいいでしょうか。

【芳賀委員】は^{は が い い ん}施設の質^{しせつ}問^{しつもん}の^いところに入^いてくれたほう^{たぶん}が、多分^{おも}いいんじゃないかと思^{おも}います。

【曽根会長】い^{そ ね かいちよう}分^わかりました。アンケートに^{ほか}という^きこと^きです。他^{ほか}に^きい^きが^きですか。

わ^{わたし}私^{わたし}からいいですか。アンケートに入^いれたらどうか^{こうもく}なという項目^{こうもく}ですけれども、これを見^みていて思^{おも}ったん^きですけ
れども、まず、意思決定支援^{い し けっていしえん}を進^{すす}めるに当^あたって必要^{ひつよう}なことは何^{なん}だと思^{おも}いますかというのを聞^きいてみたらどう
かな、というの^{ひと}が1つ。次^{つぎ}に、市役所^{しやくしょ}に希望^{きぼう}することは何^{なん}ですか。これは、市^しの計画^{けいかく}をこれ^きからつくっていくの
で、市^しに希望^{きぼう}することは聞^きいたほう^{おも}が^{ひと}いいの^きかなと思^{おも}いました。あともう一つは、これは事業者^{じぎょうしゃ}とか専門職^{せんもんしよく}に聞^き
くアンケート^{じぶん}なので、自分^とたちで取^くり組^{なん}んでい^{なん}きたいことは何^{なん}ですかという、この3つ^{みつ}を追^つ加^{いか}してはどうか^きなと
思^{おも}いました。

あとは、いかがでしょうか。御意見ごいけんはよろしいでしょうか。アンケートについては以上いじょうでよろしいでしょうか。

【事務局】 そうしましたら、今いただいた御意見ごいけんを反映はんえいして、ちょっとまた事務局から案あんを出させていだきた

と思います。本当は今日決めたかったんですけども、ちょっとすぐに決まらなさそうなので、次の会議かいぎのと

きに決められるように案あんをまた出させていただきます。また、次の審議会しんぎかいの前まえまでに期限きげんを切らせていただい

て御意見ごいけんを頂戴ちやうだいできればと思いますので、次回、振り返りの中で決めさせていただきます。と思います。

【曾根会長】 続いて、資料4のグループインタビュー、ヒアリング、この内容ないようについて、15分は取れないので、

10分ぐらい短く取りますので話合わがひいをしていただいて、その後、全体で御意見ごいけんのある方は御意見ごいけんをいただけ

たらと思います。

では、今20分ですので、50分まで10分間、グループワークをお願いします。

〔グループ討議とうぎ〕

【事務局】 10分たちましたけれども、まだお時間が必要だというグループはございますでしょうか。

では、もうちょっと延長えんちやうしたいということなので、55分まで。

〔グループ討議とうぎ〕

【曾根会長】 延長時間も終わりました、皆さんと意見交換いけんこうかんの時間とさせていただきます。と思います。

それでは、ヒアリングについて御意見ごいけんがある方は手を挙げて御発言ごはつげんください。

【山地委員】 当事者の方のグループインタビューについて、特にグループというところですけども、グルー

プはうまく話せる、ネガティブの話を話すのはグループはなかなか難むずかしいと思います。特に自分の今まで暮

らしてきた中で、残念なこととか、悔しかったこととか、あと、こうなればよかったのという、もしかするともっと

感情的なものが、自分以外の人にも聞かれるというのは、なかなか思うような発言は得られないんじゃないか

と考えます。なので、逆に、こういう経験をしてとてもよかったとか、そういうことがお互いに自分の思い出な

り、意見を聞き出すきっかけにもなったりするので、設問の仕方とか、このインタビューを受けてよかったと思え

るようなインタビューをしていかないと、ここに協力していただく人に対してはよくない、申し訳ないと思います。

だから、自分がこんな達成感があったんだとか、こういうことをしてきた自分がとても誇らしいんだということ

がふんだんに出てくれば、その方にとってもそのときの気分を思い出し、幸福感というかそういうことにもなって

いくと思うので、これを逆に聞いていくという、これはここでも自分たちの癖だねという話もありましたけれ

ども、どうしてもうまくいかなかったことから学ぼうとする。支援者はうまくいかなかったことから学べばいいと

思いますけれども、当事者の方たちから学ぶのは、そこではないんじゃないかなという話をここではしました。

【曽根会長】具体的に質問項目で、ここをこう変えたらいいんじゃないかというところを教えていただいてい

いますか。ぱっと見たところ、ネガティブなところがどこなのかちょっと。

【兒玉委員】例えばですけれども、ヒアリング項目のしょうがいしゃの方の一番分かりやすいところは、③学校

についてなんですけれども、「学校の選択はどのように行いましたか」と聞かれるよりも、「学校生活は楽しか

ったですか」と聞いてもらうほうが、より具体的なお話が聞けるんじゃないかな。そこで、楽しかったとか、あの

学校は好きじゃなかったとか、そういうお返事が引き出しやすいのかなという話をしました。やっぱり山地委員

が言ってくださったように、とても楽しいことがあったと教えてくださると、じゃ、それは何で楽しかったんだろうと

支援者側は考えられるんじゃないかなと。嫌だったことは何ですかと聞かれて自分で答えるのは……。

【曽根会長】「嫌だったことは」とは聞いていないと思うんですけれども、この質問項目は。

【児玉委員】 学校はそうなんですけれども、できないことは何ですかというよりも、できたことは何ですかと聞

いていただければ有難いかなと。

【曽根会長】 この中で、できないとか、不満足とか、そういうところは肯定的な表現に変えたらどうかと。

【児玉委員】 そうです。うまく言えなくてすみません。

【曽根会長】 分かりました。ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

先ほどこちらのテーブルで御意見をいただいたのを、もう一度改めてよろしいですか。

【村上委員】 地域の中で、今、私が住んでいるマンションに移って25年、その前に20年、違う団地に住んで

いました。それで、20年も、25年も同じところに、同じ建物の中に住んでいる人もいます。そういうお付き

合いになった人も中には2人ぐらいという長い付き合いなんですけれども、昔は子どもがいて、お父さん、お母

さんがいた生活から、子どもたちが巣立って、今、その巣立った人たちの息子や娘さんが、大学生になって、

結婚するというようなときになりました。

それで、私は団塊の世代なので。結局そういう人たちがそういう生活になったときに、結局、今の社会の中で

は、私の周りでは夫婦だけが残って子どもが巣立ってしまったという人が多いんですね。それで、私のうちも

そうです。父母が残って、私は出ていってしまいました。そういうことで、結局、父は2年ぐらい前まで、103歳ま

で元気だったんですけれども、結婚していた母と死に別れたときにお葬式で言った言葉なんですけれども、

「人間は生まれてくるときと死ぬときは1人ずつなんだよ。残った僕はもうしばらく生きたいので、御近所の皆さ

んによろしく願います」というふうに挨拶したんですけれども、そんなようなことで、結局は今の社会の形

の中では国立市も多分そういう人がすごく多くなっていると聞いていますけれども、2人で住んでいて、どちら

のこ かたち ひと おお おも
かが残るといふ形になっている人が多いと思います。

こま い わたし ちか す かた がつ にち にんちしょう ごしゅじん のこ
あまり細かくは言えないですけども、私も近くに住んでいる方で、12月30日に認知症の御主人を残して

おくさま きゅう たお お きんじょ ひと はなし
奥様が急に倒れられて、ということが起きました。それで、近所の人たちとどうしようかという話をしていたん

みんせい いん ひと じょうきょう がつ にち し ごと やす
ですね。そのときに、民生委員の人はこの状況を、12月30日ですからお仕事はお休みになっているんでしょ

ごぞん おも し かた れんらく と
うけれども、御存じなのかなと思ったりもしましたけれども、市の方とももう連絡も取れないしということになっ

わたしじん おも わたし じんせい
てくるんだろうなと、私自身が思っています。私の人生がです。

おも ち い き ひろ い み ひと なか だんち なか せま
そこで思ったのは、地域の広い意味での、1つのマンションの中でとか、団地の中でとかという狭いところで

せいかつ み す むづか すこ とお かん ちいきせい かん
は生活が見え過ぎるとまたこれも難しいところがあるので、もう少し遠くから感じられるような地域性を感じな

みんせい いん かた きょうりょくかんけい きょうりょく なに いっしょ ばしょ
がら、民生委員の方とかと協力関係ができるようなことが、協力というか何か一緒にできるような場所があっ

すこ じぶん えだは ひろ おも
たら、もう少し自分ができる枝葉のところ広がっていくのかもしれないなということを思いました。ということ

けいけん
が、経験としてありました。これでいいですか。

そ ね かいちょう いま ごけいけん はんえい
【曽根会長】それで、ヒアリングに今のような御経験をどのように反映したらよろしいでしょうか。

むらかみ いん わたし しんぎかい い かんが わたしじん
【村上委員】私はここに、審議会に入れていただいたことで考えたのが、私自身がどういうふうこれから

だれ わ だれ いっしょ おも だいす くにたちし わたし
なっていくかは誰も分からないというのは誰もが一緒だと思うんですね。そこで、大好きな国立市に私は18

さい す な くにたちし せ わ おも
歳からずっと住んでいるんですけども、亡くなるときも国立市でお世話になるんだろうと思っているんですけ

かたち じぶん じんせい わたし かか すこ しあわ ひと
れども、そんな形での自分の人生なんですけれども、私に関わることで少し幸せになっていただける人もい

わたしじん てあし て たす かんけいせい すこ
るし、私自身も、手足が出なくなったときには助けていただけるような関係性をもう少しつくるにはどうしたらいい

なか いま わたし はな せいねんこうけんせいど
いかなというのがあるって、そういう中で、今、私たちがこうして話しているような成年後見制度についても、もう

すこ ひと りかい おも
少しいろんな人に理解、きっかけになるようなことができたらいいのかなと思っています。

こうほう しんぎかい はな だいじ さいしょ はなし
広報ということも、この審議会で話すというか、大事なことだと最初にお話がありましたけれども、そういうこ
とについて、この制度についても、誰と話しても聞いたことはあるけれども全く分からないという人がほとんど
です。私もそうでした。なので、いろんな人にとって、自分たちの周りにあるものとして感じていただけるように
なるにはどうしたらいいんだろうなと。

そ ね かいちょう いま ごいけん さき あきの はなし ようかいご こうれいしゃ
【曽根会長】今の御意見と、先ほど秋野さんからお話があった、いわゆる要介護の高齢者だけではなくて、
いまげんき こうれいしゃ ひと すこ はなし き ごいけん
今元気な高齢者の人にも少し話を聞いたほうがいいんじゃないかという御意見があったんですけど、そ
ういうものと受け止めてよろしいんでしょうか。

むらかみい いん
【村上委員】そうです。

そ ね かいちょう わ たいしやう ひろ いましえん ひつやう ひと
【曽根会長】分かりました。じゃ、もうちょっとヒアリングの対象を広げて、今支援が必要な人だけではなくて、
これから支援が必要になるかもしれない人もヒアリングしてはどうかという御提案でよろしいですか。分かりま
した。

ほか さき よこた かんけい ごいけん おも
他にいかがでしょうか。先ほど横田さんからも、ヒアリングの関係の御意見があったと思うんですけど、
あらた
改めていかがですか。

よこた い いん さき はなし いっしょ だいじやうぶ
【横田委員】先ほどの話ともう一緒にされているので、大丈夫です。

こやまい いん は が はな かんれん じぶん い し
【小山委員】芳賀さんがさっきいろいろなお話しされたのにも関連してなんですけれども、「③自分の意思と
じんせい
人生について」というところで、「支援を受けて決めた意思は」というくだりがあるんですけど、それ以前に

じっさい う しえん ふくし かん しえん たい おも
実際に受けている支援とか福祉サービスとかについてどう感じているかとか、支援に対しての思いだったり

ふまん 不満だったりとか、そういったところもやっぱり聞いたらいいいんじゃないかなという話^{はなし}が^{はん}この班^ででは出ました。

【曽根会長】 今受けている支援^{しえん}に対する思い^{おも}を聞いてはどうかということによろしいですか。林^{はやし}さんも先ほど

ごいけん 御意見をおっしゃっていたと思いますが。

【林瑞哉委員】 しょうがいしゃと高齢者^{こうれいしゃ}で少し設問^{せつもん}の内容^{ないよう}が違^{ちが}っていたんですけれども、しょうがいしゃのほ

うにも、困^{こま}ったときに相談^{そうだん}できる人^{ひと}はいますかというところは入^いれてもいいのかなと思^{おも}ったんです。

もう一つ、自分^{ひと}の意思^{じぶん}と人生^{いし}についてというこで、自分^{じぶん}のやりたいことができていますかの前^{まえ}に、やりたいこ

とはありますか、とか、楽しみ^{たの}はありますか、というところから入^{はい}っていったほうが話^{はなし}は聞きやすいかなと思^{おも}いま
した。

【井上委員】 いのうえい いん かのたつむりに来^きてほしいです。ヒアリング^きに来^きてほしいです。

【曽根会長】 そ ね かいちょう わ 分かりました。あとはいかがでしようか。だいじょうぶ 大丈夫でしようか。

わたし 私、さっきの芳賀^{は が}さんの御意見^{ごいけん}はヒアリング^いに入^{おも}れたらどうかとちょっと思^{おも}ったんです。自分^{じぶん}が何かを決^なめ

たいと思^{おも}ったときに相談^{そうだん}できる人^{ひと}がいますかというのと、それは誰^{だれ}ですかということ、ヒアリング^{なか}の中^きで聞^き

てみてはどうかなと思^{おも}いました。

【芳賀委員】 は が いん れんけい ねが 連携^{ねが}をお願いします。

【曽根会長】 そ ね かいちょう はい。ほかにヒアリング^きについてはよろしいですか。

【小山委員】 こやまい いん こ たぶん こうもく ぜんぶ き もう1個^きいいですか。多分^{たぶん}、ヒアリング^きはこの項目^{こうもく}を全部^{ぜんぶ}聞^きかなくてはいいけないとか、あるいはこ

のとおりに聞^きかなくてはいいけないとか、そういうことではないと思^{おも}うんです。多分^{たぶん}こうやってお聞き^きする中^{なか}で、い

ろいろなことが派生^{はせい}してきたりして、その人^{ひと}のライフイベント^きとか、ライフストーリー^きとかが聞^きければいいかなみ

たいな感じかん おもで思っています。私わたしは、2回目かいめのときに、当事者とうじしゃの人の話ひと はなしが聞けたらいいなと思ったときの頭おものイ

メージにあったのは、社会学者しゃかいがくしゃの岸政彦きしまさひこさんが編集へんしゅうした『東京の生活史』とうきょうという本と『大阪の生活史』おおさかという

ぶん厚ぶあつい150人にんの方かたをインタビューした本ほんなんですけれども、やっぱり150人にんの人がいたら150通とおりの生き方いかた

があっていいよね、というのがその本ほんからすごく感じかんられるんですけれども、何かなにそんなインタビューができた

らしいかなと思おもいました。

【曽根会長そ ね かいちょう】 いろんな話はなしができるといいなと思います。ほかによろしいですか。

では、ヒアリングについて御意見ごいけんいただきありがとうございます。事務局じむきょくから何かコメントがありましたらお

ねが願ねがいいたします。

【事務局じむきょく】 事務局じむきょくから今お伝えしようと思ったことが、小山委員こやまいいんからおっしゃっていただいています、このヒ

アリングについてはもともと、小山委員こやまいいんからの提案ていあんで、当事者とうじしゃのことを委員いいんとして知りたいというところから来

ておりますので、この設問項目せつもんこうもくもあくまで例示れいじでございます。学術調査がくじゆつちようさとかだと、ある程度、設問項目せつもんこうもくをしか

り設定せっていして、返ってきた回答かえを統計的かいどうに処理とうけいてきするというのが大切なんだと思うんですけれども、今回のヒアリン

グはそういった目的もくてきでは行う予定ではございませんので、当事者おこなの方がどういうふうに感じながら生活して

いるのかとか、御自身ごじしんの意思を決める上でサポートがあったのかとか、もしくは御自身ごじしんの意思を決めてきた

と、自分で決めてきたという感覚きぶんがあるのか、それとも人に決められてしまったという感覚かんかくがあるのか。そうい

った当事者とうじしゃの方が実際かたにどういう思いじっさいを持って生活しているのか、というのを聞くために、こういったことを聞

いたらどうかという例示れいじをさせていただきます。

先ほど幾つかのグループで、ヒアリングうを受けたときにぜひポジティブな思いおもを持ってほしい、というお話はなしも

ございましたし、今、小山委員がおっしゃっていただいたとおり、聞き方はそれぞれでいいんじゃないかと思っ

ておりますので、事務局も基本的にはそのように考えております。あくまで例示ですので、こういうふう

に聞きたいことがあれば、ぜひそのように聞いていただければと思っております。

先ほど井上委員から、かたつむりに来てほしいというお話もございましたので、訪問先はまた少し調整を

させていただければと思っております。また、この内容をもう一度当事者の方にも見ていただいて、こういう聞き方

をしてほしくないとかがあれば、井上さんだったり、芳賀さんだったり、次回でも結構ですので、こういう聞かれ

方をするとは非常に傷つくかもしれないとか、逆に、こういうふうに聞いてほしいというのがあれば、ぜひ次回振

り返りの際におっしゃっていただきたいと思っております。

一応、3月に、できればこのヒアリングとアンケートは決定させていただいて、4月ないし5月ぐらいに実際に

施設訪問というのを実施してまいりたいと考えております。その際には、自分はこの施設に行ってみたいと

かというところをぜひ手挙げしていただきたいと思っておりますので、今のうちから、どういう当事者に聞いて

みたいか、高齢の方、しょうがいの方、先ほど村上委員からもありました認知症とかを抱えていない高齢の方

とか、どういう方に自分は聞いてみたいなのを考えていただければありがたいです。それを基に日程

調整したり、会場の調整をさせていただきたいと思っております。

【曽根会長】これから支援が必要な人というのも対象に加えるということでもよろしいわけですね。

【事務局】ある程度、実際に聞いていただくのは委員の皆さんですので、まだ認知症になっていない方に聞

いてみたいという人がいればそれは調整させていただきたいと思ひますし、例えば、既に支援を受けている方

でいいよということであれば、そういうふう

うかが おも
伺いたいと思います。

【曽根会長】 これから支援が必要な人に聞くとすると、要するに施設に聞きに行くということとはできないと思
うので、対象をどういうふうに定めていくかということが必要になるかと思うんですけれども。

【事務局】 先ほど事務局で考えていたのは、どこまでというところもあるんですけど、権利擁護センター
で関わっているような方、もしくは福祉会館に老人福祉センターという元気な高齢者が通う、集いの場みたい
なのもありますので、そういったところを利用するということは1つあろうかなと考えています。

【曽根会長】 分かりました。そうしたら、ヒアリングについて以上でよろしいでしょうか。

ぜんぜんきゅうけい と じかん もう ふん い
全然休憩を取る時間がなくて申しわけありませんでした。あと15分になってしまったので、トイレに行きたい
方は自由に、休憩はなしでやらせていただきます。

さいご ちゃかい ため こんご かいぎ すす かた みな ごいけん
最後、お茶会を試しにやってみたんですけども、今後の会議の進め方について、皆さんから御意見をいた
だければと思います。

【事務局】 お茶会のこともそうですし、このようなグループワークという形で分かれてやることについてどう思
うかというところもぜひ御議論していただければと思います。

【曽根会長】 議論というか、テーブルごとにマイクを回していただいて、意見を言っていただいてもいいです
か。では、秋野委員のテーブルからよろしくお願いします。一人一人。

【秋野委員】 お茶会の感想ですが、まずは楽しかったなというのがありましたので、私はぜひ次回もやってい
ただきたいなと思いました。今日、このテーブルでお話しさせていただいたお三方のお茶会をやらなければ聞
けないお話を聞ける機会なりまして、「えーっ!」なんていうお話もいっぱいありましたので、距離がすごく縮ま

ったなと^{かん}感じました。

それから、もう一つの^{ひと}効果^{こうか}みたいなどころでは、自分の^{じぶん}話を^{はなし}最初に^{さいしょ}それぞれ^{はな}話すことで、その^{あと}後のグループワ

ークで^{はつげん}発言^{かん}がしやすくなったような^{こうか}感じが^{おも}しましたので、そういう^{じかい}いい効果^{おも}もあったなと思いました。次回もぜひ
やっていただきたいです。

【^そ曾根^{かいちよう}会長】^{じかん}ありがとうございました。それで、^{けいさん}時間を^{だいたい}計算^りすると大体^{ふん}1人1分ぐらいになりますので、それを

^{いしき}意識しながら^{ごはつげん}御発言^{ねが}をお願いします。

【^{むらかみいいん}村上^{わたし}委員】^{ちい}私も^わ小さいグループに^{はなし}分かれて、^きお話を^{かお}聞けて、^{とお}お顔が^{だいじ}遠くなくて^{おも}やっぱり^{だいじ}大事な^{おも}ことだなと思
いました。^{わたし}私は^{うれ}嬉しかったです。

【^{いけだいいん}池田^{じかい}委員】^{おな}次回^{かたち}同じ^{おも}形で^{おも}進めるといっていいと思います。

【^{はやしひろきいいん}林^{ちやかい}大樹^{あと}委員】^{はな}お茶会^{どうにゆう}があつて、その^{おも}後、^{おも}話し^{おも}やすかったという^{おも}か、^{おも}スムーズな^{おも}導入^{おも}になったかと思^{おも}います。そ
れから、グループ^{てき}ワーク^{けんとう}的な^{さんか}検討^{かんかく}ですけれども、^{おも}参加^{おも}しているという^{おも}感覚^{おも}があつてよかったなと思^{おも}います。

【^{やまじいいん}山地^{つづ}委員】^{おも}続けて^{おも}いただきたいと思^{おも}います。

【^{よこたいいん}横田^{おな}委員】^{かたち}同じ^{おも}形で^{おも}いいと思^{おも}います。

【^{こだまいいん}児玉^{つづ}委員】^{おも}ぜひ^{ねが}続けて^{おも}いただきたいと思^{おも}います。お願いいたします。

【^{さとういいん}佐藤^{つづ}委員】^{おも}また^{おも}続けて^{おも}いただけたらと思^{おも}います。

【^{はがいいん}芳賀^{かたち}委員】^{つづ}この^{かんが}形で^{ねが}続け^{おも}られた^{おも}ほうが^{おも}考^{おも}えが^{おも}まとまるので、^{おも}お願い^{おも}します。

【^{こやまいいん}小山^{わたし}委員】^{おも}私も^{おも}その^{おも}ように^{おも}思^{おも}います。

【^{かなざわいいん}金澤^{わたし}委員】^{つづ}私も、^{おも}続けて^{おも}いただきたい^{おも}なと思^{おも}っています。

【林瑞哉委員】ほかの委員との話をしたいと思いますので、グループのメンバーを変えてやって続けられたらいいかなと思います。

【井上委員】お茶会、やりたいです。グループワーク、いいです。ときどきしたよ。考え中です。

【曽根会長】せっかくなので、アドバイザーの川端さんも。

【川端氏】私もすごく楽しく参加させていただきました。グループが多分いろいろ変わっていくと、もっと皆さんと距離が近くなるかなと思いました。ありがとうございます。

【曽根会長】事務局も何か。

【事務局】事務局は、これが駄目とか、これがいいと言うと事務局ではなくなってしまうので、皆さんの御意見を尊重したいと思います。

【曽根会長】参加しての感想はいかがですか。

【事務局】こちらから見ていると非常に活発に御意見が出ているなと思いました。最初、始まったときは、やはりちょっと意見が出るグループと出ないグループで多少差がちょっとあるのかなと思ってたんですけど、2回目、3回目のグループワークになるにつれて、こちらから特に何か情報提供しなくても議論が進んでおりましたので、次回はさらに最初からお話がしやすいのかなと見ていて思いました。

【曽根会長】なるべく当事者の方が参加しやすい形で進めないと、この会議の意味がないということでしょう。いろいろ工夫をして今こういう形ですけども、では、少し続けてみるということで、皆さんもいろいろ意見が出たみたいなので、よろしくお願いします。

あと、井上さんは、アンケートについては準備中ですということだったので、準備が整ったら事務局に意見を

つた おも
伝えていただけたらと思います。

いのうえ いん じゅんび
【井上委員】 準備します。

そ ね かいちょう ねが
【曾根会長】 よろしく願います。

じむきょく かえ おも
では、事務局にお返ししたいと思います。

じむきょく じかいだい かい しんぎかい ぜんかい れいわ ねん がつ にちきんようび つた
【事務局】 では、次回第5回の審議会でございますが、前回、令和7年3月28日金曜日とお伝えしておったん

さんか いいん なんめい まえ しゅう れいわ ねん がつ にち きんようび
ですけれども、参加できない委員も何名かいらっしゃいましたので、前の週の令和7年3月21日の金曜日に

へんこう おも ごりようしょう じかん ほんじつ おな じょうほうこうかんかい
変更させていただきたいと思いますので、御了承ください。時間は本日と同じでございます。情報交換会、お

ちゃかい ご ご じはん しんぎかい ふん かいさい おも かいじょう おな ばしょ しゃくしょ ち か かい
茶会を午後6時半から、審議会を45分から開催したいと思います。会場も同じこの場所、市役所の地下1階、

あとち じっし おも
ハーベスト跡地で実施したいと思います。

ほんじつ ぎ じろく かん がつちゅうじゅん いいん みなさま そうふ じゅんび
本日の議事録に関しましては、2月中旬をめぐりに委員の皆様へ送付できるように準備してまいりますので、

ねが じかい ふ かえ さい ていどかくてい おも
よろしく願います。次回は、振り返りの際にアンケートとヒアリングのところをある程度確定させたいと思っ

じかい じむきょく じゅんび けいかく ほんべん はい おも
ていますのと、次回ちょっと事務局の準備もありますが、計画の本編にぜひ入ってまいりたいと思っております

みなさま ごきょうりょく おも
ので、皆様にも御協力いただければと思っております。

そ ね かいちょう いじょう きょう かいぎ お みな
【曾根会長】 では、以上で今日の会議を終わらせていただきます。どうも皆さん、ありがとうございました。

じむきょく かた ちゃかい じゅんび
事務局の方も、お茶会の準備、ありがとうございました。